

NPO 法人松山子ども劇場 21 第 113 回舞台鑑賞例会

きみがしらない ひみつの三人

<まとめ集>



日時：2021年7月17日（土）
開演：17:00～（上演時間 65分）
会場：愛媛県男女共同参画センター

【観た人】 82人（会員 56人 チケット 26人 ）

【アンケート】 新型コロナ感染予防対策としてハガキ・メールで取りまとめました。

～みんなの感想～

★うたがとてもきれいで人がうごいていることをしゃべるだけでつたわってくるのがすごいと思いました。けんかしてる時もあったけどさいごにはなかなかおもしろいストーリーがおもしろかったです。こうえんにきてくださってありがとうございます。（小4・男子）

★ハートおばさんのうた声がとてもうまかったです。いぶくろおじさんもおもしろかったです。あたまはかせはしらないことをかんがえたりしていました。（小2・女子）

★素晴らしい公演をありがとうございました。小学2年生の母です。子どもの将来の「何か」の一部になってくれればと、今回初めて観させて頂きました。観劇中「わー」と声を出して喜ぶ娘をみることができ、大変有意義な時間となりました。コロナ禍で大変な中ですが、皆さまお身体に気をつけられて頑張ってください。（大人）

★例会の前に原作の絵本を見て、舞台を観ましたが、絵本では表されていないこと（絵で想像しなくてはいけないこと）が舞台では具体的なエピソードとなって表現されていて、そういうことだったんだ！と、キミという1人の物語を楽しむことができました。

4歳の息子にはまだ難しかったかなと思いましたが、部分的には笑ったり静かに見たりと、この子なりに何か感じているのかな。大きくなって思い出したり、考えたりしてくれたら嬉しいなと思いました。（大人）

★小さい子どもが沢山観に来ているお芝居が初めてだったので、新鮮でした！面白いところでの反応がめっちゃくちゃ素直で、心に響くところでは鎮まり返ってて、それを見れたのが面白かったです。

生まれてから死ぬまでを見守る存在の視点にジワッときて、とても良かったです。舞台のセットが可愛かったです！（大人）

★子どもだけでなく大人も元気をもらえる、素敵な作品でした。長い人生の中で大切な場面を描いていて、色々な伏線があったり笑える部分もあったり。原作は読んでことがなかったのですが、優しいメッセージが伝わってきました。大きなジャングルジムを効果的に使っていて、舞台劇ならではの楽しみもあったと思います。また講演後のトークで、舞台稽古のことや、皆さんがどうして劇団に所属することになったのかと言ったお話もお聞きできて、とても興味深く面白かったです。私の中にも3人がいてくれると思って頑張ります…！（大人）

★原作の絵本が好きで、どんな舞台になっているか気になり参加しました。絵本では詳しく描かれていない部分がふくらんでいてとてもよかった。（大人）



劇団員さんと事後交流会

質問 1. どのくらいいけこしましたか？

はまださん：稽古の期間は 1 か月くらいでした。普段より短い期間で、毎日 4 時間ずつ短期集中で行いました。3 人ともこの春からこの作品に関わっています。コロナの関係もあり、差し替えの原稿は膨大でした。普段だったら舞台装置なども一緒に作っていくのですが、キャストの入れ替えは、作られた状態、できたものを丸写しするもので、舞台装置は半月くらい組み立てがわからなくて苦労しました。

質問 2. どうして場所がわかったの？

はまださん：愛知県名古屋市からやってきました。場所はここだよ、って教えてもらったからちゃんと到着できました（笑）6 時間から 7 時間かかりました。

（途中で劇中の話と聞いて）いぶくろおじさん、アタマはかせ、ハートおばさんの 3 人が鼓動だけで集まったのが不思議だったのか…。なんでだろうね。

（質問者から感想：始まる前に音だけで集まったのが不思議だった。振付がおもしろかった）

質問 3. 高校のときの部活は？

はまださん：硬式テニス部です。

高場さん：工業高校だったので自動車部。

一人乗りの自動車をつくり燃費を競うことをしていました。

宮川さん：普通の（笑）サッカー部でした。



宮川さん

質問 4. お芝居の道に進むきっかけは？

はまださん：中学校の演劇部が盛ん。学級活動でもお芝居をする時間があって、そこからハマった。うりんこには、劇団の偉い人と会って、養成所に入りました。

高場さん：性格的には朗読や人前に出ることが苦手だったんですが、小学校の時に学芸会で主役を体験してみて「気持ちいい！」と感じたのがきっかけではないかと思います。

宮川さん：バブル期の後の就職で、普通じゃないことをしたいと思っていて、電話帳を繰って広告を見て選びました。でも 30 年続いているのでわからないものだなあとと思います。

質問 5. ひみつの三人の仕事はなんで違うの？

はまださん：あたまで考えて、からだで感じて、ここではあたまで説明できないことを三人で分担しています。生きて行くために必要なことを三人で分けて仕事をしているんだと思います。

(再度質問：からだの中にあるのと同じ部分の名前なのはなぜ?)

はまださん：からだの部分と同じ形じゃなかったから
わからなかったのね！役割で名前をつけています。



はまださん

質問6. 舞台装置がジャングルジムなのはなぜ？

はまださん：舞台の形を考える人、演出家のイメージがジャングルジムだったんです。からだの中をいそがしく動き回るイメージがぴったりだと思います。

質問7. 好きな食べ物はなんですか？

はまださん：ギョーザ！

高場さん：毎日 3 食ラーメンでも大丈夫です！

宮川さん：生ビール！

はまださん：定食ができてちゃいましたね（笑）



高場さん

質問8. 児童劇専門の劇団に入って、子どもたちに伝えたい思いはどんなことですか？

はまださん：今の時代は大人も子どもも“生きづらさ”を抱えていると思います。楽しいとかいろんなことを伝えたいし、大丈夫って言えること、伝えることが大事だと思います。子ども達が何を知りただろう、何がひっかかるだろうとみんなで相談、考えてお芝居を作っています。

高場さん：お芝居は一緒に体験することだと思っています。今は制限があるけれど、一緒に体験したいと思っています。

宮川さん：子どもは強い感性を持っているので、生半可では見透かされると思っています。子どもは真髄を見る。それを見られるのを意識して、それを届けたい、というのを指針にして活動しています。

.....

子どもたちはまだまだ聞きたいことがあるようでしたが、約 20 分間の交流を楽しみました。



【当番ブロックより】

★みなみブロック

城西ブロックと一緒に取り組みました。例年であれば事前にブロック会をしていましたが、今回はそれも叶わず、ラインでの打ち合わせとなりました。

みなみブロックの子どもさんが模造紙に描いてきてくれた大きな「ひみつの三人」と、理事さんが用意してくれた模造紙のケーキにリボンやテープでにぎやかに飾りつけをし、それをロビーに展示にしました。

入場時の検温や受付もしっかり行い、ケーキの飾りつけをお願いする声掛けも頑張りました。

以前はみんなで一言ずつしていた開場前のあいさつも今はコロナ対策もあり、一人で行いましたが緊張しながらも無事出来ました。

終演後の片付けも最後まで行い、例会のいろんなことに携わり長くても楽しい日となりました。今はみんなで集まってすることが難しい時期ではありますが、こうして例会の時に子どもたちも力を合わせて例会を楽しく迎えられるのは子ども劇場ならではの、ありがたいことだと思いました。



★城西ブロック

「どうしてここがわかったんですか？」と、事後交流会で質問が出ました。それは、登場人物であるいぶくろおじさんハートおばさん、アタマはかせの3人が、物語の隠れた主人公である「きみ」の元に、どうして集まって来られたかを問う質問でした。物語の頭を思い返すと、ひみつの3人は、偶然と幸運が重なって「きみ」の中で出会ったようでした。そして、それは、私たち人と人との出会いにも当てはまると感じました。

今回の例会当番は、みなみブロックとの合同でした。理事の方々と共に、とてもすてきなロビーを作っていただきました。事前の打ち合わせはSNSで行い、集まることなく終わられました。コロナ禍での例会も、回を重ねるごとに、準備などを含めた流れが良くなっているようです。例会全体を通して、人とのつながりがより一層大切なものに思えました。

プレゼントは、中島のおいしいみかんジュースに3人のキャラクターをプラバンで作りました。



【舞台鑑賞事業部より】

自分の中にいた！ひみつの三人！

ジャングルジムとカラーボックスが置かれている舞台、そこにいぶくろおじさんが現れて「3・2・1…」と合図を送る。何の変化もなく、もう一度。すると、「ドクン・ドクン…」と心臓の音が鳴り始めた。この音を頼りにアタマはかせが、最後に慌ててハートおばさんが。三人が集まり、握手をすると「生まれた！」と“きみ”の物語が始まった。

♪ハッピーバースデーディアみんな～♪と歌い出して始まったことで、誰もが自分自身の中にいる“ひみつの三人”を想像したのではないのでしょうか。

～赤ちゃんの“きみ”が初めて海へ行った時のこと。

～小学生の“きみ”が初めて誰かを好きになった時のこと。

～眠れない夜にオバケの夢を見た時のこと。

～ご飯が食べれなくなって風邪をひいた時のこと。

～この世をさよならする日のこと、そしてその後のこと…

チラシや当日パンフレットで三人のプロフィール(仕事内容)とキャラクターイメージをもって観劇したので、アタマはかせが記憶のカードを整理し間違えたから怖い夢を見ちゃったんだな！とか、ハートおばさんが恋の気持ちを応援してくれたり、失恋したのを慰めてくれたりするんだな！とか、いぶくろおじさんがみんなが元気に働けるようにごはんを用意しているんだな！…などと、ストーリーが進むごとにリンクして三人の魅力に引き込まれました。

自分の体の中でこの三人が働いていると思うと、嬉しいような、面白いような、心強いような…。これから何かあると、今三人はどうしてるのかな？って考えてしまいそうです。

ひみつの三人が“きみ”と呼びかけてくれた人は、私であり、あなたであり、舞台を観に来た人みんな、一人一人のこと。自分のことのように、そして大切な誰かのことを思うと、みんな素晴らしい人だよね♡ そんなメッセージを受け取り、温かい気持ちになった舞台でした。